

KISC

公益財団法人 かがしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

夏号
2012

創業や研究開発に
取り組むあなたを応援します



今月の表紙

第九回かごしま産業技術賞

『特別賞』

フラクタルひよけ

株式会社ロスフィー

代表取締役 保 照光

<企業概要>

所在地 鹿児島市紫原4丁目32-12
 設立 昭和58年11月
 従業員数 5名
 TEL: 099-251-2225
 FAX: 099-251-9546
 URL: http://www.losfee.jp/
 E-mail: mail@losfee.jp



東京ミッドタウン

今月の表紙は、「第九回かごしま産業技術賞」の「特別賞」を受賞された「株式会社ロスフィー」代表取締役の保 照光さんです。

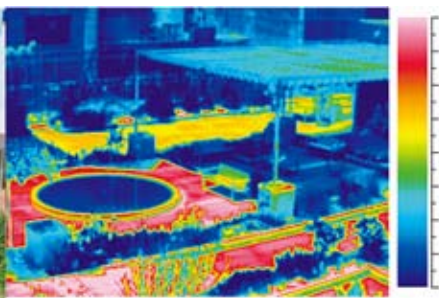
同社は、30年近く建築業を営んでいましたが、2008年から新規事業として、環境企画設計業務を始め、京都大学との共同研究により、「フラクタルひよけ」を開発しました。

従来のひよけは、平らなシートのため、夏場はシート自体の温度が高くなり、それに伴う輻射熱が問題でした。「フラクタルひよけ」は、自然幾何学であるフラクタル理論を用いることで、木漏れ日のような緑陰を作りながら自熱を発散し、風圧力にも耐える三次元構造を持つ特徴があります。

木々の葉の分布を参考に、効率よく並べられた布により醸し出される自然の木漏れ日を実現する当該日除



マルヤガーデン「ソラニワ」の日除け効果



けは、デザイン性に優れ、ゆらぎによる涼感を高めるため、高機能・高感性な日除けです。

平成22年度「メッシュ技術によるフラクタルひよけ（木漏れ日）シートの開発」テーマで、当センターの研究開発助成事業として採択され、手作業商品の自動化・量産化に取り組まれています。

これまで、多くの工場や病院、保

CONTENTS

- 2 今月の表紙
- 3 私の思い!
- 4 かごしまモノづくり推進協議会活動報告
- 6 わが社の輝く女性!《蘭田 昌代さん》
- 7 がんばる進出企業 (株)飯塚製作所
- 8 ベンチャープラザコーナー
- 10 海外取引情報コーナー
- 12 IT 情報コーナー
- 14 Information 平成24年度助成企業の決定
- 15 受発注情報
- 16 県外展示会への出展について

かごしま産業技術賞は(公財)かごしま産業支援センターが3年毎に募集・表彰するもので、地域産業の技術の高度化と活性化を目的に、新製品や新技術を開発し、産業振興に寄与した県内企業を表彰しています。

第九回は、24年2月に受賞企業の表彰が行われました。

育園などに設置され、国内で最大級のイベント、お台場合衆国にも採用されました。

また、(公財)日本デザイン振興会が主催のグッドデザイン金賞も受賞するなど、国内外から高い評価を得ています。

今後、都市ヒートアイランド、地球温暖化に貢献する環境商品として、省エネ効果が期待されます。

鹿児島県中小企業団体中央会

会長 小正 芳史

プロフィール

鹿児島市出身。

昭和47年同志社大学卒業後、株式会社ロベルトを経て、小正醸造株式会社へ入社。

昭和57年より代表取締役役に就任。

現在、鹿児島総合卸商業団地協同組合、鹿児島県火災共済協同組合などの理事長も務めている。

平成24年5月より中央会会長に就任。



私の 思い

『組合と共に明日を拓く中央会』

さる5月25日、第57回通常総会において、県下550会員、3万以上の事業者を擁する鹿児島県中小企業団体中央会の会長に選任されました。歴代会長が果たされてきた功績に身の引き締まる思いではありますが、中小企業振興への熱い思いを胸に、組合組織を通じた企業の発展に全力で取り組んで参ります。

中央会は、組合組織を支援する唯一の専門機関として47都道府県に設置されています。全国では3万組合、30万以上の会員を有する日本最大の中小企業支援組織として、組合の共同事業支援に取り組んでおります。しかしながら、経営環境の大幅な変化により、組合事業にも時代の波が押し寄せ、組合数は減少傾向にあるのが実情です。

そのような中、昨年3月11日に発生した東日本大震災では、地元に根

を張って活動を続けてきた様々な組合・組合員が一丸となってインフラの早期復興に昼夜を問わず取組み、市民生活の安定の為に大きく貢献して参りました。その結果、全国的に組合の存在意義が改めて認識されつつあります。

当県においても、災害時の早期復興や支援を目的に行政機関と災害協定を結ぶ組合も増えております。そのためにも常日頃から共同販売・共同加工・共同購入・教育情報等の共同事業を円滑かつ効率的に実施し、組合への帰属意識をお互いが共有することが重要であります。

中央会は、組合運営の円滑化と共同事業の効果的な実施を支援することにより、中小企業の活性化を図り、地域振興に寄与する使命があります。その決意は、「国の礎 中小企業」と歌う「中小企業団体の歌」に表されています。

また、本会では厳しい経営環境を

組合・組合員と共に打開していくため、

『組合と共に明日を拓く中央会』をメインテーマに、

(1) 相互扶助の精神で中小企業の活性化を目指します

(2) 組織の力で地域経済の繁栄に寄与します

(3) 明日へのさらなる飛躍に挑戦します

を理念として取り組んでいくことにしました。

本県経済は、九州新幹線の全線開業等の効果も相俟って、持ち直しの傾向を示す業種もありますが、多くの中小企業においては、まだまだ厳しい局面にあります。こうした経営環境を乗り越えるため、共に理解しあう仲間を組合を組織し、共同事業を通じた課題解決に取り組む、共存共栄できる社会を迎えるために、精一杯頑張る参ります。

かごしまモノづくり推進協議会活動報告

経営革新道場の取組事例紹介

鹿児島県及びかごしまモノづくり推進協議会では(株)トヨタ車体研究所(霧島市)様の協力を得て、経営基盤の強化を図るための産業人材育成を支援するため、「経営革新道場」を開催しております。

5月23日(水)に鹿児島市で開催しました「鹿児島県モノづくりセミナー」で発表された企業の活動を紹介します。

(株)クリエート技研

(薩摩川内市)

(株)クリエート技研は、鉄全般、アルミ合金、ステンレス鋼、超硬金属など幅広い材料を取り扱い、精密治工具、刃具、電子部品、金型部品の製作など加工を得意とし、高い精度を保証します。

1 課題

(株)クリエート技研は、モノと情報の流れの停滞、不良発生の慢性化、従業員の育成に課題があり、平成23年8月から改善活動を開始しました。

改善にあたり、大滝取締役管理部長が指揮をとる「改善プロジェクトチーム」を組織し、従業員と対話を

しながら活動を推進しております。

2 改善の取組事項

(1) 目標の明確化

「売上高」「時間加工高」「不良低減」などの目標と実績を見える化し、目標達成に向けて経営者と従業員の意識を合わせることができました。

(2) 収益状況の見える化

収益状況についてグラフ化し、また収益管理と進捗管理を定期的な会議において確認することで、従業員のモチベーションが向上しました。

(3) モノと情報の見える化

納期遅延の低減を図るため、「出荷管理ボード」を設置し、47件であった納期遅延が2件に減少しました。また、仕掛品棚を整理することで、モノを探す時間を90分/日から30分/日と短縮しました。

(4) 作業の工数低減
受注データから出荷カードを印刷するプログラムを作成し、出荷カードを作成する時間を60分/日から10分/日と短縮しました。

(株)クリエート技研の事例

課題	改善の取組事項
①モノと情報の流れの停滞	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の明確化 ・就業規則の見直し ・収益状況の見える化 ・不良低減活動 ・人材育成 ・2S活動 ・モノと情報の流れの見える化 ・作業の工数低減
②不良発生の慢性化	
③従業員の育成	



3 今後の取組

- ① 営業活動の強化として、失注した物件の分析を行い、今後の受注件数を増やす
- ② 外注加工費の低減対策として、内製できる体制づくりと、社員の多能工化を目指す
- ③ 不良対策として、集計データを活用して、品質管理と再発の防止を強化する

改善活動は、これまでのやり方を捨て新しい方法を取り入れるため、一時的に従業員へ負荷がかかる怖さがありますが、改善効果を実感できるよう積極的に挑戦し、経営者と従業員との距離を縮め、働きやすい会社を目指していきます。

アネット(有)

(鹿屋市)

アネット(有)は県特産のサツマイモや生姜などの農産物の生産、加工、販売をはじめ、サツマイモ、イチゴ、などの種苗の生産や販売、生姜調味料や堆肥などの開発研究を行っています。

1 課題

アネット(有)は、業務拡大に伴って煩雑化した業務管理の改善や、経営

の効率化及び人材の育成を図るため、平成24年1月から改善活動を開始しました。

尾曲代表取締役会長と若い従業員とが向かい合い、信頼関係を築きながら改善を続けています。

2 改善の取組事項

(1) 目標管理・年度方針の明確化

従業員の意識調査から、「互いに刺激し合い啓発しあう風土がない」、「目指す姿が見えない」、「どんぶり勘定である」などの率直な意見を拾い上げ、目標管理、年度方針策定のための方向性を明確にしました。

また、経営者として「経営状況の見える化」、「問題の共有と信頼関係の構築」、「役割、責任の明確化」の必要性を強く認識しました。

(2) 商品管理と生産フローの見える化

① 経営管理指標のグラフ化

各収益状況をグラフ化し見えるようにすることで、経営状態を従業員と共有できるようになり、また、翌月の予測ができるようになりました。

② 循環型経営をビジネス化したこと

全ての製造過程（種芋、苗、芋、加工）で商品が発生するため、どの商品から収益がでてい

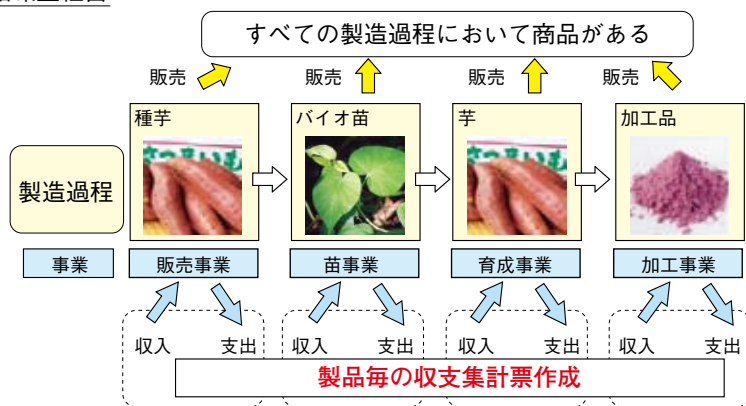
るかが分からないという課題がありました。

事業別（販売事業、苗事業、育成事業、加工事業）に収支を分割し、製品毎の収支集計票を作成することで収支を明確にしました。

③ 事業別作業工数集計表の作成

事業別の作業を明確にし、作業者毎に実績工数を入力することで加工費算出が容易となり、

循環型経営



どんぶり勘定から脱却する仕組みができました。

3 今後の取組

① 12年度方針の作成、期目標の設定を行う

② 商品管理、生産フローの見える化の定着を目指す

③ 原価管理のしくみを運用する

④ 人材育成についてスキルマップと、育成計画を作成する

従業員の意識調査からはじまり、「しくみづくり」まで改善は着実に進んでいます。今後残された課題の解決に向けて活動するなか、若い従業員が育つ働きやすい会社を目指していきます。



事例発表（5月23日）

「経営革新道場」の募集

「経営革新道場」は、経営者及び経営幹部の方々を対象に経営基盤を基礎から改善する取組について学ぶ場です。

「かごしまモノづくり推進協議会」の御紹介

「かごしまモノづくり推進協議会」は、自動車・電子・新成長産業の振興を図ることを目的に、企業の新商品等の開発能力の向上や新たなビジネスチャンスの拡大を図りながら、会員企業の人材育成、技術力向上、販路開拓等に取組んでいます。
※正会員の入会募集については、随時行っておりますので、下記事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ先

かごしまモノづくり推進協議会事務局（鹿児島県商工労働水産部産業立地課）

Tel. 099-286-2970 e-mail: gijyutu@pref.kagoshima.lg.jp

わが社の輝く女性！

今号の、ものづくり企業で頑張る「わが社の輝く女性！」は、設備、プラントそれに伴うコンピュータシステム技術などの総合エンジニアリング企業 株式会社フジヤマの 藺田 昌代係長です。



藺田 昌代係長 プロフィール

1975年生まれ 星座 さそり座
川辺で生まれ川辺で育つ
県立川辺高校から
川内職業能力開発短期大学卒業
1996年4月 株式会社フジヤマ
に入社し現在に至る

株式会社フジヤマ

所在地 鹿児島市セツ島 1-4-12
設立 1969年12月
従業員数 33名
TEL 099-261-3331
FAX 099-261-8283

◆現在の担当部署は

SE事業部に所属しており、主にシステム開発を行っております。

◆入社動機は

川内職業能力開発短期大学卒業後は、何か技術的な仕事に就きたいと思っており、県内企業を探していましたところ、自宅から通勤可能なフジヤマがありました。

当時、フジヤマの募集は『男性のみ』でしたが、無理をいっておしかけた私の意気込みが通じて、無事に入社出来ました。

◆仕事上の印象深い思い出は

当社が開発しているシステムは機械、電気も含めたトータル的なシステムなので、半導体工場、電子部品工場等の新築工事では現場作業が多くあります。私が入社した頃は現場に女性用トイレも無く苦労しました。逆に、その分女性が珍しいので、経験が浅い状態でもだいたい目に見てもらえたり、失敗しても大目に見てもらえたりしました。

◆「ものづくり」について

最近では企業も働く人も見かけの格好の良い仕事を求め、「ものづくり」現場での仕事を敬遠するような風潮がありますが、シッカリとした社会基盤を確立するためにはシッカリとした「ものづくり」をする必要があります。

◆女性管理職として心がけていることは

お客様の立場に立ったシステム開発を行う事です。

機械の技術も電気も技術も持っているフジヤマだからこそ、一般のソフト会社よりお客様の側に近い位置で考える事が出来ると思います。

◆後輩社員へ期待することは

最近の若者は、すぐに諦めたり、やめたりする傾向が多いように思います。石の上にも3年といいますが、私は頑張るといふ気持ちでおりました。技術の仕事は人の命を預かる非常にプレッシャーのかかる仕事ですが、その分やりがいもあります。「仕事の面白さ」を見いだせるとあつという間に時間は過ぎていきます。後輩には、是非その「仕事の面白さ」を感じて欲しいと思います。

◆会社への思いや抱負は

フジヤマの強みは総合エンジニア



SE事業部のみなさん

◆趣味や尊敬する人物は

私もオールマイティな技術者になるために、担当しているシステム以外の機械、電気関係の勉強もしていきたいです。

◆趣味や尊敬する人物は

人よりのんびりしたマイペースな人間なので、家にいる時はボーッとしていることが多いのですが、最近「趣味は読書」と言える様になるために、毎日小説を読むように心がけています。

◆上司の方から



藤山社長

今は仕事に性別は関係無いと言われていますが、我々の業界はまだまだ「男の仕事」で、女性は非常に少ないです。そんな中、藺田は「ピカイチ」の技術力を持ち、その上、ベテランでも中々合格しない「1級電気工事施工管理技士」や「1級管工事施工管理技士」も一発で合格、我が社のエースとして活躍しています。

ものづくり企業の現場で、頑張っている女性の方を紹介いたします。あなたの会社や取引会社の「輝く女性」を紹介ください。

がんばる進出企業

株式会社 飯塚製作所

■会社概要

株式会社飯塚製作所は、昭和39年に創業し、今年で48年になります。精密冷間鍛造部品の開発と製造を行っており、主に自動車のシートベルト・エアバックなどの安全部品と、ステアリング関係などの機能部品を手がけております。平成19年には、永年研究を積み重ねた冷間鍛造技術により「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれました。

奈良県に本社と工場の2拠点あり



商品サンプル

■鹿児島進出の理由

り、2011年10月に国内3拠点目となる鹿児島工場を新しく立ち上げ、現在、従業員125名、うち鹿児島工場が14名となっています。

今から5年前、自動車部品の需要増に対処するためには、既存の奈良県2ヶ所の工場が手狭であったことから、奈良県内も含め工場用地を探しており、候補の中の1つが鹿児島県始良市（旧蒲生町）でした。その後、2008年のリーマンショックで一時期凍結しましたが、翌年には仕事量も急回復し、工場新設計画を再開。2009年11月に、リスク分散や人材の確保も考慮して旧蒲生町と立地協定を締結し、2011年10月の竣工に至りました。

■特徴

独自の開発技術力で、顧客のニーズにあった製品を開発し、自

動産産業の品質規格であるISO/TS16949に基づく管理体制のもと安定した供給をしています。最近では、従来切削又は鍛造+切削で製作していたものを、切削レス、冷間鍛造のみで造れないか！という依頼が多く、当社はこれらの要望を確実に実現しています。

この様にして、新しい工法を生みあげ、取得した工法特許は10件以上にのぼります。



鹿児島工場

■今後の展望

当社の製品の70%強は、海外（欧米・アセアン・中国等）で使用されており、当然顧客も現地調達しようとされています。

そんな動きの中、一部の製品は当社の中国工場（JV会社）で量産しますが、日本国内においては、更に研究開発に力を入れ、海外に負けない技術力を維持しながら、量産（モノづくり）も行っていく予定です。



代表者/取締役社長 **前田重雄**

本社/奈良県大和高田市根成柿 493 番地
鹿児島工場/鹿児島県始良市蒲生町久末 3043 番地 8
設立/昭和 39 年 10 月

資本金/2,000 万円 従業員数/125 名

事業内容/自動車用冷間鍛造部品の開発及び製造販売

TEL: 本社 0745-22-3515 / 鹿児島 0995-54-3555

FAX: 本社 0745-22-3516 / 鹿児島 0995-52-0035

URL: <http://www.iidzka.co.jp/>

ベンチャープラザ コーナー

第53回ベンチャープラザ鹿児島

「二水会」

第53回目となるベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、平成24年5月9日（水）・鹿児島市において開催いたしました。

発表企業と内容

企業	内容
福山黒酢(株) 代表取締役 津曲 泰作	黒酢に果物を漬け込んだ「フルーツ黒酢」の開発・販路開拓
(株)しかや 代表取締役 宮之原正治	納豆菌などの食品に使用される菌を活かした切り花の延命剤、特殊肥料の開発・販売について

二水会での発表企業数は、県外企業を含めて延べ175社となりました。
(うち県外46社)

福山黒酢株式会社

代表取締役 津曲 泰作
霧島市福山町福山 2888 番地
TEL : 099-218-8345
FAX : 099-220-8546
E-mail : takeshita@kakuida.com
http://www.kakuida.com



発表する津曲社長

発表内容

〈企業紹介〉

霧島市福山町で江戸時代から続く福山黒酢の製造販売を行っており、業界で初めて「長期熟成黒酢」を商品化しました。平成17年には黒酢料理専門のレストラン「黒酢本舗 栢志田」をオープンし、ランチは全メニューに黒酢を使用しております。県外やアジア地域からのツアー客も増え、福山地域の伝統産業である「壺造りの黒酢」PRで、新たな観光拠点の構築に力を入れています。



「黒酢レストラン黒酢本舗 栢志田」

〈商品開発のきっかけ〉

黒酢は、生活習慣病の効果があるとして一般的に認知されている一方で、黒酢独特の香りや酸味が苦手な方が多く、敬遠されることも事実です。その欠点を克服した飲みやすい黒酢飲料をお客様に提供し、お客様の健康生活に役立ちたいと考えたことがきっかけです。

〈商品の紹介〉

弊社のフルーツ黒酢の製法は、黒酢に直接果物を漬け込み、果物の甘味や香り、さらには成分を抽出した商品です。一般には、黒酢に果汁を混合するフルーツ酢が主流で、ほとんどジュースに近い味わいですが、弊社のフルーツ黒酢は直接果物を漬け込むため、黒酢の味わいがしっかりとっているだけでなく、果物そのものの風味が味わえる特徴があります。



「生フルーツ黒酢 (100ml)」

す。黒酢特有の強い香りや強い酸味がマスキングされ、飲みやすい黒酢飲料に仕上げられているうえ、優れた抗酸化作用を持つと言われるアントシアニンやβ-クリプトキサンチン等の果皮に含まれる成分が抽出されております。

漬け込みに使用する黒酢は、じっくり手間ヒマかけてアマン壺で三年以上長期発酵熟成させた玄米黒酢を使用していますので、色も美しい琥珀色で、味は酢カドがとれてまろやかさがあります。そのこだわりの黒酢に国産の果物を漬け込んだフルーツ黒酢です。果実は可能な限り鹿児島県産の無農薬の物を使用し、保存料、着色料は一切使用しておりません。



発表する宮之原部長

株式会社しか屋

代表取締役 宮之原 正治
 鹿児島市谷山港2丁目2-16
 TEL : 099-262-0710
 FAX : 099-261-8930
 E-mail : miyanohara710@shikaya.com
 http://shikaya.com

今後の展望
 これまでは、黒酢に直接果物を漬け込む製法で原液タイプを開発してきましたが、今後は、お客様が水で希釈する手間のない、ストレートですぐ飲めるタイプの商品化を進めていきます。また、黒酢加工品の開発を進め、中高年層だけでなく、広く女性にも受け入れられる商品の開発を目指します。

発表後の成果・感想

弊社のフルーツ黒酢をPRでき、多くの方に関心を持っていただけるきっかけになりました。



発表内容
〈企業紹介〉
 昭和28年天文館で創業以来、納豆・蒟蒻など食品の製造・販売、納豆を加工した健康補助食品の製造・販売、納豆菌を活かした商品の開発・製造・販売業務をいたしております。
〈商品開発のきっかけ〉
 納豆（菌）に水質浄化作用がある事をTV番組で知りました。これまで納豆造ってきた鹿児島納豆屋として、鹿児島の方々と環境保全事業に取り組めるのではないかと考えた事がきっかけです。長年納豆を造っているなかで、納豆菌の増殖能力、たんぱく質分解能力の高さは知っていました。長い食経験により

発表内容

〈企業紹介〉

昭和28年天文館で創業以来、納豆・蒟蒻など食品の製造・販売、納豆を加工した健康補助食品の製造・販売、納豆菌を活かした商品の開発・製造・販売業務をいたしております。

〈商品開発のきっかけ〉

納豆（菌）に水質浄化作用がある事をTV番組で知りました。これまで納豆造ってきた鹿児島納豆屋として、鹿児島の方々と環境保全事業に取り組めるのではないかと考えた事がきっかけです。長年納豆を造っているなかで、納豆菌の増殖能力、たんぱく質分解能力の高さは知っていました。長い食経験により

安全性も確認されている納豆菌で作った製品は、日本だけではなく世界にも展開できる可能性があるのではないかと。これには将来性があると考えた事も事業を始める理由となりました。

〈商品の紹介〉

1. 花の活性水（切り花の長持ち剤）
 納豆菌の他菌抑制力、繁殖能力の高さ、生成物を活かした切り花の長持ち剤です。他社の製品の多くが化学薬品を原材料としています。花を日頃から楽しむ方は自然志向が高いのではないかと考え、モニター調査でも評価の高かった商品の発売となりました。切り花の長持ち剤は市場が小さいですが、周知する事で十分な市場が見込めると考え、商品化をしました。

2. 土壌の水（特殊肥料）

納豆菌・乳酸菌・酵母をバランスよく配合しました。自然界にいるこれらの菌は土を元気にする菌です。有機資材にも適合する土壌の水は、人にも作物にもやさしい天然由来の肥料です。

3. 花畑の水（特殊肥料）

納豆菌を主原料とした葉面散布用の天然由来の肥料です。花の育成に特化した商品です。

4. そうじの水

トイレの尿石除去、台所の油もの

汚れ、お風呂の水あか除去に効果を発揮します。生分解性が高く、環境にやさしい洗浄剤です。

発表後の成果・感想

発表資料をまとめる事で、どのように言えば商品を伝えられるのか、どの購買層に働きかける商品なのか、が明確になりました。また、発表後商品の問い合わせやコラボ商品の開発のお話を頂きました。

今後の展望

安心・安全への消費者の関心はますます高くなると考えます。環境にも人にも優しい納豆菌を活かした商品の開発を今後も進めて参りたいと考えております。大学や企業等との連携で世の中に必要とされる商品開発に努めて参ります。



開発商品

海外情報

海外との交渉術の具体策！

田中アソシエイツ
代表 田中 博



田中アソシエイツ 田中 博
プロフィール
鹿児島市出身
横浜国立大学経営学部卒業後、S48年三菱商事(株)入社。
中国支社金属部長 鹿児島支店長を最後に同社定年退職。
H21年9月より現職。横浜市在住。

春号では、「海外とビジネスを始める前に！」というところで、その心構えを書かせて頂きましたが、今回は応用編です。

【通訳の起用】

さて、相手先が決まりいざ海外とのコンタクトが始まると、海外の人達とどのように接触して行ったらいいか、という問題が起ってきます。海外からの原料の調達や販路開拓であれ、あるいは海外への拠点設置であれ、最初はメールのやり取りや商談から始まります。言葉の問題は通訳を起用するのですが、ジェットロ(JETRO=日本貿易振興機構)に相談すれば、大概の国に事務所があるので通訳を紹介してくれます。因みにジェットロは鹿児島にも事務所があります。通訳は相手方が起用することもありますが、重要な交渉や微妙な商談の場合は、こちら側でも独自に通訳を起用することが大事です。

【相手の気心を知るには】

しかし、さらに交渉をスムーズに運ぶ為には、相手の気心を知らなければなりません。それにはどうしたらいいでしょうか。そのための解決法は、日本人同士のお付き合いと同様、会食することが一番です。特に中国人の場合を想定して話を進めましょう。中国人は、大の宴会好き。こちらから宴会を申し入れると、日頃接触している交渉相手のほか、社



内の他部門のメンバーや場合によってはドライバー、極端な場合は知人まで連れて来ることもあるくらいの大宴会となることがあります。話題は気候風土や食べ物とか観光地など何でもいいのですが、更にこれらの話題に文化や歴史の話を付け加えれば、中国人は大喜びです。何と言っても三千年の歴史を持つ国です。時の政権により国名や国体が何度も変わって来た国家であり、またかつての敵国の戦争孤児を育てた国民ですから、やはり懐が大きい。

宴会の際には私も学校で教わった五言絶句の漢詩を必死で思い出し、この詩を知っていると言うだけで大受けでした。唐の時代の詩人、杜牧が作った「江南春」(江南の春)は確かこうだったと。

千里鶯啼緑映紅

(千里鶯啼いて緑紅に映ず)

水村山郭酒旗風

(水村山郭酒旗の風)

南朝四百八十寺

(南朝四百八十寺)

多少楼台煙雨中

(多少の楼台煙雨の中)

もちろん全部を覚えていなくていいのです。うろ覚えの少しの部分而言えば、それはこういう詩だろうと相手方が勝手に補ってくれる。そうすると「おおそうか、知っていたのか」と褒めてくれるのですが、「しかし、この詩は季節の情景を詠ったもので、格調はあまり高くない。格調高いのは、人の情を詠った抒情詩だ。例えば・・・」と言う具合で、宴会はどんどん盛り上がり、最後は「あなたは老朋友（*）だ」ということで意気投合するわけです。

*老朋友＝古くからの友達

【お互いに主張を！】

そうなると本格的な商談はスムーズに進んで行くのですが、懐の大きい中国の方々は、一方では大変な交渉上手でもあります。彼等は自分の立場、主張を滔々と述べます。最近の中国は急激に自動車の数が増え、都市部では交通事故現場に遭遇することがしばしばですが、事故を起こした当事者同士が大勢の野次馬に囲まれながらも、決して手は出さずにその代わり大声で自らの主張をしている光景をよく目にします。ビジネス



スの交渉ごとでもこれは同じで、日本人がお互いの立場を考え、相手の心情を忖度して言うのとはまるっきり違うので、まずは交渉の入口で日本人はびっくりしてしまいます。しかしこういう時は、負けずにこちらも自らの主張を堂々と述べるのが大切です。双方が主張し合って喧嘩寸前のところで、お互いに着地点を探し合意に達するわけです。こういう議論をやれば、まさに「雨降って地固まる」でかえって堅固な関係を築きやすくなりますが、もしこういう議論をやらずに綺麗ごとで済ませ

ていたら、交渉が纏まりビジネスが走り始めた後に綻びが出て来るといふことになるかもしれません。

【日本の常識は海外では通じないことがある】

もう一つ交渉の過程で忘れてならないのは、先の自己主張と同様、日本の常識が通じないことがある、ということなのです。例えば、成果に結び付かなくても一生懸命努力したというだけで、日本ではそれなりに一定の評価がなされる場合もありますが、中国人に限らず、外国人にとっては結果がすべてだということです。これは結構大事なことなので覚えておきましょう。

【さらに親睦を深める】

また、交渉では結構やりあっても家族の写真を準備しておいて、宴会の時などに見せ合ったりすれば更に親睦が深まることを付け加えておきます。

お互いに信義を守り、主張すべきは主張して、合意に達したことはきちんと書面に残す。こうしたことを

積み重ねて行けば、立派な国際間交渉となり、成果が実を結ぶはずです。ひたひたと押し寄せるグローバルゼーションの波、さあ上記のような交渉の原則を手にして元気に乗り出して行きましょう！

*日本貿易振興機構（ジェトロ）

鹿児島貿易情報センター

Tel 099-226-9156

◆セミナー等開催案内

○「タイ機械・部品ビジネスセミナー」及び「海外展開支援施設説明会」

日時… 8月31日(金)午後2時

場所…アーバンポートホテル鹿児島

問い合わせ先

・ビジネスセミナー

ジェトロ鹿児島

Tel 226-9156

・支援施設説明会

鹿児島県かごしまPR課

Tel 286-3053

○「製造業アジア圏域海外販路開拓支援セミナー」

日時… 9月中旬予定

場所…鹿児島市内ホテル予定

問い合わせ先

かごしま産業支援センター

Tel 219-1272

IT情報コーナー

『情報セキュリティ対策』を今一度再考してみる

NPO法人ITがこしま支援隊に属しています。ITコーディネータの上ノ町です。

今回は企業だけでなく、営利・非営利の団体全てが考慮すべき『情報セキュリティ対策の盲点』について、御紹介します。

さて、皆さんは『情報セキュリティ』という言葉から何を思い浮かべられるでしょうか。ウイルス対策なら、全てのパソコンにウイルス対策ソフトを導入してあるし、パソコンの無断使用対策としてパスワードもかけてあるから大丈夫だ、とお考えではないでしょうか。

確かにウイルス対策も情報セキュリティ対策の一環として、とても重要です。ウイルス対策ソフトの導入・最新パターンの自動適用・年次契約の更新など、現在では必須事項と言えます。

また、パスワード管理も同様に重要です。社内にはサーバ等を整備されている場合は外部からの侵入を阻止するファイアウォール等の設置も重要です。

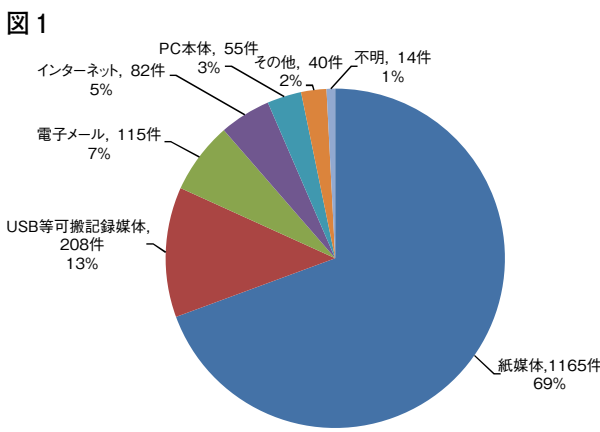
しかし、情報セキュリティの重要性が叫ばれてから久しく、次々と最新の技術が開発されているにも拘わらず、情報漏洩事件が続発するのは、なぜなのでしょう。

情報セキュリティ対策や情報漏洩対策と聞くとITによる技術的な対策を行えばよいと考えられがちですが、そうではありません。ここに『盲点』があるのです。具体的に3つの盲点を挙げていきます。

【最大の経路はITではない】

情報漏洩が発生する経路で最も件数が多いものは何だと思われるでしょうか。実は、IT絡みではありません。

図1をご覧ください。実に情報漏洩事件の7割近くが紙媒体を介したものです。IT、特にインターネットを介しての漏洩は1割程度し

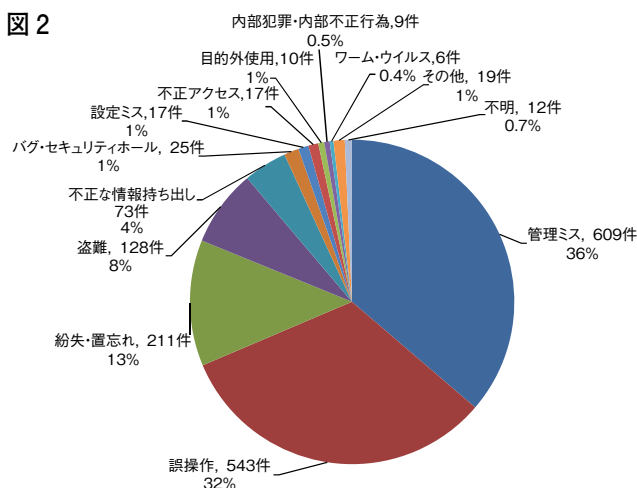


かありません。最大の原因は『紙』なのです。

紙媒体による情報漏洩の具体的な内容として、印刷物の紛失や放棄、FAXの誤送信、書類の誤廃棄などが挙げられますが、実はここに『盲点』があると考えられます。

書類に記載されている情報の重要度、機密度を理解していない。または『慣れ』による不注意や漫然化が生じ、管理および取り扱いがおろそかになる等、情報を保護する観点がずれたために、紛失や誤廃棄などが発生したと考えられます。

図2をご覧ください。実に情報漏洩事件の原因の5割近くが、管理ミ



スや紛失・置き忘れを起因としたものなのです。

皆さんの職場で、情報が記載された『紙』について、どう取り扱っているか、どのように処分しているか、記載された情報が重要なものではないかを今一度確認してみてください。

【職場全体で行う情報漏洩対策】

皆さんの職場は『情報を保護できる職場』となっておりますでしょうか。ここで、皆さんに質問したいと思います。YES/NOでお答えください。

- ・ 外部からの来訪者と応対する場所や応接席から、パソコンの画面や机の上に広げた書類が見えないようになっていきますか。
- ・ プリンタやFAX、複写機は外部からの来訪者からの目に触れない場所に設置してありますか。
- ・ 離席する際は、パソコンの画面を閉じる。またはモニターの電源を切るなどを習慣化していますか。



すか。

職場から帰宅または外出する際に、書類を机の上に広げたまにしないよう習慣化していますか。

・ パソコンやシステムのパスワードを付箋紙などに書いて、机上やパソコンに貼り付けたりしてないでしょうか。

・ 重要度や機密度が高い書類、個人情報に記載された書類を処分する際は、クロスシュレッダーを利用してありますか。

・ フロッピーやCD、MO等のメディアはシュレッダーなどで破砕した上で捨てていますか。

・ 職場は入室が管理されており、正当な用件のない部外者が容易に侵入できないよう工夫されていますか。

・ 契約書などの重要書類が入った棚について、業務終了時鍵を掛けるなどの持ち出し・閲覧の制限をかけていますか。

・ 電話での『なりすまし』対策として、電話対応のルールが徹底されていますか。

5つ以上NOがある場合は緊急に見直しを実施されるか、セキュリティ専門企業にご相談されるべきです。

職場のレイアウトやごみの捨て方、画面や書類の取り扱いの習慣なども重要な観点ですが、『盲点』となりがちです。

パーティションの追加や目隠しスクリーンの設置など高額でない投資でも効果が得られます。是非、検討してください。

【教育の重要性と反復の見落とし】

せっかく情報セキュリティ対策として多額な投資を行っても、社員や役員の意識が低いままでは無駄な投資となりかねません。

情報セキュリティに限らず、セキュリティは河川の堤防と同じく最も低い所、つまり意識が低い個人や集団から決壊します。

たとえ、情報セキュリティ担当者のセキュリティ意識が高くても、他の社員の意識が低いままでは、会社全体の情報セキュリティのレベルは低いままと言えます。ここが第3の『盲点』です。

会社全体のセキュリティ意識を向上させるには、年1回でも結構ですので、全員が情報セキュリティ対策の講習を受講することをお薦めします。

また、一度講習を受講したからといって、それで終わりではやはり意味を成しません。社員教育同様、繰

り返し行うことが肝要です。繰り返し受講することで、情報セキュリティの重要性を上つ面だけでなく、骨身に染み渡らせる効果があるからです。

加えて、社内での自助努力では限界があります。お付き合いのあるITベンダー等にご相談の上、実施されてはいかがでしょうか。

御社の情報セキュリティ対策を再考される際に、ご参考として頂ければ幸いです。



うえの まち だい さく
上ノ町 台 作

プロフィール

資格：ITコーディネータ
所属：ITかごしま支援隊 監事
〒892-0821鹿児島市名山町4番3号
(株)鹿児島頭脳センター内
TEL：099-216-2260
URL：http://www.itshien.org
E-mail:itksall@itshien.org

「研究開発事業」、「重点業種研究開発事業」及び「産業おこし挑戦事業」の平成24年度助成が決定！

(公財)かごしま産業支援センターでは、ものづくり技術の高度化、新製品開発能力の向上などに繋がる研究開発や、自動車・電子・食品・成長産業関連の戦略的産業振興分野及び地域資源活用・農商工等連携分野での新事業創出の取組など、がんばる中小企業等が行う取組に対して助成を行っています。

このたび、平成24年度の助成を次のとおり決定しました。



助成決定企業のみなさん

【研究開発助成事業等】

●研究開発助成事業（3社 6,000千円）

研究開発型企業等が行う、新技術・新製品等の開発・試作に要する経費を助成

企業	テーマ	金額(千円)
株式会社井川産業	真球ビーズ及びカラービーズ製造技術の開発	3,000
株式会社鎌田工業	味噌・乳酸発酵物配合による高付加価値型養魚用配合飼料の商品化	1,500
飯田機械株式会社鹿屋工場	鹿児島県における流水路を活用したバケット連結型低落差大水流マイクロ水力発電システムの開発	1,500

●重点業種研究開発支援事業（3社 8,428千円）

自動車、電子、新成長分野関連産業（環境・エネルギー産業、健康・医療産業、バイオ関連産業）が行う新技術、新製品の開発に要する経費を助成

企業	テーマ	金額(千円)
株式会社エルム	安納芋の糖度測定装置の開発	2,212
株式会社サンライズ精工	光通信用シールリングの低コスト高効率成形技術の開発	2,628
株式会社J S V	ストップアンドスタートと回生制動自動車用蓄電池のSOC計測器の小型量産器開発	3,588

Information

[かごしま産業おこし挑戦事業]

1 中核的企業創出プログラム事業

自動車、電子、食品、成長産業関連の有望な技術シーズ等を有する中小企業者等が地域の中核的企業となるための経費を助成

企 業	テ ー マ	金額(千円)
交和電気産業株式会社(出水市)	大型LEDアレイモジュールを搭載したLED照明の開発、製造、販売	3,500千円

●地域資源活用起業家支援事業(1社 3,000千円)

地域資源を活用して起業を目指す個人等が行う研究開発、販路開拓等に要する経費を助成

企 業	テ ー マ	金額(千円)
霧島燻製ファクトリー(霧島市)	地域畜産活用 新工法「食肉燻製加工・販売」	3,000千円

2 地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業

地域資源の活用や農商工等連携により、中小企業者等が行う事業化の経費を助成

助成企業	助成対象テーマ	助成金額(千円)
日置南洲窯(日置市)	薩摩焼と川辺仏壇とのコラボ 陶器と漆のコラボ	3,000千円
株式会社オーケー社鹿児島(鹿児島市)	シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化	3,000千円
鹿児島県オーストリッチ事業協同組合(鹿屋市)	地域資源ダチョウ肉を活かした大隅特産品の開発(ダチョウ肉を活かした生ハム、ウィンナー、ダチョウ卵を使ったマヨネーズの開発)	3,000千円
有限会社やまさき(始良市)	黒さつま鶏の「桜島灰干し」「鶏味噌」の開発と販路開拓	2,993千円
新洋水産有限会社(いちき串木野市)	マグロ血合いの活用方法と製品化	3,000千円
福山黒酢株式会社(霧島市)	黒酢の風味改良技術の開発	1,088千円

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件(設備・技術力等)に見合った取引の紹介あっせんを行っております。あっせんのご希望がありましたらご連絡ください。

◆発注情報

*九州合同発注開拓調査(1回目)で発注申し込みがあった一部を掲載しました。

なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合もありますので、その際はご了承をお願いいたします。

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	
					必要設備	材 料
1	大阪府	婦人服	30～200 枚	縫製	本縫ミシン ロックミシン	ポリエステル 綿

【お問い合わせ先】 取引振興課 TEL: 099-219-1274 FAX: 099-219-1279
E-MAIL: business@po.kric.or.jp

県外展示会へ出展（円高等対応緊急販路開拓支援事業）

当センターでは、急激な円高や国内大手企業の生産拠点再編などによる県内中小企業への取引減少等の影響に対応するため、県外で開催される展示会に鹿児島県ブースを確保し、出展を希望する県内中小企業に提供し販路開拓支援を行っております。7月末現在で2つの展示会に参加し、鹿児島県内の製造業のPRおよび情報収集を行いましたので報告します。

●中小企業総合展 2012 in Kansai

開催日：平成24年5月30日(水)～6月1日(金)
 場所：インテックス大阪 6号館
 (大阪府住之江区南港北 1-5-102)
 主催者：独立行政法人中小企業基盤整備機構
 来場者：66,882人(3日間合計)
 展示状況：鹿児島県内の製造業13社が出展



中小企業総合展は、経営革新等に果敢に取り組む中小・ベンチャー企業が、自ら製造・開発した新製品・技術等を一堂に会し展開することにより、販路開拓や業務提携といった企業間の取引を実現するビジネスマッチングを促進することを目的として開催されました。

当センターは、支援機関コーナー2小間に出展し、県内の製造業13社の製品展示を行いました。また、九州の支援機関合同のブースとして隣接小間に出展したことにより、九州地区としての製造業の売り込みの場にもなりました。

●第16回 機械要素技術展

開催日：平成24年6月20日(水)～6月22日(金)
 場所：東京ビックサイト
 (東京都江東区有明 3-11-1)
 主催者：リード エグジビション ジャパン(株)
 来場者：75,015人(3日間合計)
 展示状況：鹿児島県内の製造業14社が出展



機械要素技術展は、軸受・ベアリング・ねじ・ばねなどの機械要素や、金属・樹脂に関する加工技術を一堂に集めた専門技術展として開催され、設計・開発・製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数来場し、活発な商談が交わされました。

当センターのブースには、県内の製造業14社の製品を展示し、専門技術力を広くPRするとともに、新規取引先拡大の手がかりを得られるなど、有益な情報発信の場となりました。

次回は「第15回 関西機械要素技術展 : 2012年10月3日(水)～5日(金)」に鹿児島県ブースを出展予定です。出展を希望される企業は、当センターのホームページをご覧ください。

情報 KISC SUMMER

発行者：公益財団法人かごしま産業支援センター
 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)
 FAX 099-219-1279
 E-mail kisc@po.kric.or.jp
 URL <http://www.kric.or.jp>